

令和3年度 第1回 鶴岡市スポーツ推進審議会 会議録

- 日 時 令和4年3月24日（木）午後1時30分から3時00分まで
- 会 場 小真木原総合体育館2階大会議室
- 審議事項 議 事
令和4年度スポーツ団体への補助金交付について
報告並びに説明
(1) 令和3年度スポーツ振興主要事業等の実施状況について
(2) 令和4年度スポーツ振興重点事業について
(3) 運動・文化部活動と地域との連携検討について
- 出席委員 齋藤隆委員、佐藤祐司委員、和田恭司委員、丸山春男委員、山本益生副会長、勝木正人委員、村田久忠会長、鎌田博子委員、佐藤真紀委員、佐藤しおり委員、阿部研委員、佐藤満子委員
- 欠席委員 高橋健彦委員、本間篤委員、難波理委員
- 事務局 鶴岡市教育委員会 教育長 布川敦、教育部長 本間明、学校教育課長 成澤和則、学校教育課指導係専門員 佐藤友大、スポーツ課長 齋藤匠、スポーツ課主幹 阿部三成、同主査 渡部宏一、同主査 佐藤絵理
- 公開・非公開の別 公開
- 傍聴人の人数 3人
- 審議経過 以下のとおり

1. 開会

事務局 本日は、お忙しいところご出席いただきまして、ありがとうございます。ただいまから令和3年度鶴岡市スポーツ推進審議会を開会いたします。

2. あいさつ

教育長 みなさまこんにちは。本日は、年度末のお忙しい中、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。皆様には、日ごろから、本市のスポーツ振興施策につきまして、ご指導、ご助言を賜りまして、誠にありがとうございます。この場をお借りしまして御礼申し上げます。本審議会は、例年、年度末に開催しております。これは、本日の議事「スポーツ団体への補助金の交付」についてご意見をお聴きするにあたり、新年度予算を審議する市議会3月定例会終了後の、この時期の開催となるからでございます。また、皆様には、この3月1日から2年間本審議会委員をお願いするものです。どうかよろしく願いいたします。さて、令和3年度も、新型コロナウイルスが猛威を振っております。本日も山形県が170名、本市は14名、酒田市が23名、遊佐町が5名でした。まず一人でも減るように頑張りたいと思っております。本市におきましても市対策本部の方針に基づきまして、先のスポーツ施設等の閉鎖がありました。様々な感染拡大防止のために措置を講じてきたところですが、まだまだ予断を許さないところでございます。マスク着用や手洗いなどの基本的な感染症対策を続けていくことが重要と思っております。そのような中、新型コロナウイルス感染症の影響で開催が危ぶまれます

した東京2020オリンピック聖火リレーでは、この場にいらっしゃる村田様も聖火ランナーを務められ、たくさんの感動を頂戴いたしました。続いて夏には、ホストタウン相手国であるドイツとモルドバの事前合宿の受け入れを実施した他、オリンピック初出場のアーチェリー中村美樹選手の活躍がありました。多くの市民に夢と希望を与えていただいたと思っております。また、12月からは鶴岡市屋内多目的運動場「JA鶴岡だだちゃアリーナ」が供用開始となりました。屋外で活動する競技種目をはじめとした多くのみなさまからご愛用いただいております。今後スポーツを通じた市民の活動が活発になることを願っております。本日、委員の皆様には、「令和4年度の補助金交付」についてご意見をお聴きするほか、「令和3年度の事業実施状況」、「令和4年度の重点施策」、及び「部活動と地域の連携検討」について報告・説明をさせていただきます。本市のスポーツ振興施策全般について、ご意見を賜りますようお願い申し上げます。あいつとさせていただきます。本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

2-1. 委嘱状交付

事務局 委嘱状交付につきましては、感染拡大防止の観点から接触機会を減らし、会議時間を短縮するため割愛させていただき、皆様の机に配置させていただいております。何卒ご了承ください。

3. 自己紹介

— 各委員自己紹介 — — 事務局自己紹介 —

4. 出欠報告

事務局 ここで本日の出欠についてご報告させていただきます。本日は、3名の委員が欠席しております。委員15名中13名の出席であり、過半数の出席を得ておりますので、鶴岡市スポーツ推進審議会条例第6条第2項の規定により本審議会は成立していることをご報告申し上げます。

4-2. 会長及び副会長の選出

事務局 鶴岡市スポーツ推進審議会条例第5条に、「審議会に会長及び副会長1人を置き、委員の互選によりこれを定める」とされております。選出につきましていかがいたしましょうか。もしよろしければ事務局からご提案を申し上げますことでよろしいでしょうか。

— 異議なしの声 —

それでは、事務局案を申し上げます。会長には、鶴岡市スポーツ少年団本部本部長の村田久忠委員、副会長には、NPO法人鶴岡市体育協会会長の山本益生委員をご提案させていただきます。いかがでしょうか。

— 異議なしの声 —

それでは、会長は村田久忠委員、副会長は山本益生委員にお願いしたいと存じます。村田会長、山本副会長どうぞよろしくお願いいたします。

5. 議事

事務局 議長につきましては、同条第1項に、会長が議長となる旨が規定されておりますので、村田会長は議長席へお進みくださいますようお願いいたします。議長からは、次第の5. 議事のところから、6. 報告並びに説明までの進行をお願いいたします。それでは村田会長、よろし

くお願いします。

会長 ただいま会長ということで務めることとなりました。皆さんよろしく申し上げます。しばらく議事進行を務めます。本日の終了予定時刻は午後3時ごろということで進めさせていただきます。それでは早速議事に入らせていただきます。(1) 令和4年度 スポーツ団体への補助金交付について議題といたします。事務局から説明をお願いします。

事務局 スポーツ課の佐藤絵理です。私から「令和4年度スポーツ団体への補助金交付について」ご説明を申し上げます。資料の3ページをご覧ください。令和4年度の補助金全体の額で4,073万6万円、前年比で483万4千円の減でございます。まず保健体育総務費です。全体で1,300万円、前年比で65万円の減でございます。鶴岡市体育協会活動支援補助金が560万円。これはNPO法人鶴岡市体育協会の運営をはじめ、体育功労者表彰、指導者養成、ジュニアスポーツ振興等の事業に対する補助でございます。鶴岡市スポーツ強化後援会補助金が700万円。これは地元選手の競技力向上、上位大会出場選手の激励事業に対する補助でございます。鶴岡市スポーツ大会等開催事業補助金は、本市で開催される東北大会以上の競技大会の運営に対する補助でございます。大会一日当たり5万円で積算しており、記載の1大会10万円、前年比で65万円の減でございます。第41回東北高等学校弓道選抜大会が本市を会場に行われる予定でございます。次の鶴岡市地域スポーツ振興補助金は、じろで庄内実行委員会が実施するサイクリングイベントに対して補助するもので、30万円の前年同額です。

続きまして、健康・生涯スポーツ推進事業です。全体で2,410万9千円、前年比11万6千円の減でございます。No.1 鶴岡市スポーツ少年団育成補助金は、鶴岡市スポーツ少年団本部に対し、408万6千円、前年同額でございます。No.2の鶴岡市スポーツの日関連事業補助金は、子ども夢スポーツフェスティバル実行委員会に対し、110万円、前年同額でございます。No.3の鶴岡市駅伝競走大会開催事業補助金は、同大会実行委員会に対し、66万5千円で前年同額、No.4 鶴岡市スポーツ・レクリエーション教室運営補助金は、56万円で前年比5万6千円の減でございます。鶴岡地区体育協会連絡協議会加盟団体等へ1件当たり2万8千円を上限に交付するものです。交付できる団体数を2団体減らしています。No.5～No.10の鶴岡市地域体育協会等育成補助金は、鶴岡地区体育協会連絡協議会をはじめ、藤島・羽黒・櫛引・朝日・温海の各地域体育協会の運営、加盟団体の育成、地域住民対象の健康生涯スポーツ行事の実施に関する事業に対して補助するもので、合計408万8千円、前年同額でございます。次にNo.11～16の鶴岡市地域スポーツ振興補助金は、特色ある地域スポーツ活動を推進し、広く市民のスポーツ振興及び活性化を図ることを目的に、事業を実施する各実行委員会等に対して補助するもので、合計で613万円、前年同額でございます。この内、No.12の鶴岡市チャレンジデー実行委員会については平成25年から7年間実施して参りましたが、コロナ禍での開催が難しく2回中止となっております。今後はウォーキング事業へ移行することとして実行委員会を解散することとなりました。No.14の国際バドU16推進協議会に対する補助金につきましては、同協議会に対しては、補助金ではなく負担金として400万円を計上しておりますが、令和4年度の開催につきましては、延期が決定されたと伺っております。No.15の鶴岡里山あるき実行委員会は前年同額、令和3年度中止となりましたが、「ノルディックウォークin 鶴岡」と、「みんなで歩こう里山あるき」の両ウォーキングイベントを、「つるおかスリーデー

ウォーク」と称して、9月の三連休に連続して開催することを計画しております。No.17の鶴岡市登山事業補助金15万円と、No.18の鶴岡市公益財団法人藤島文化スポーツ事業団補助金521万円は前年同額でございます。No.19のてくてくウォーク推進協議会補助金の114万円、前年比6万円の減でございます。事業内容を精査することとし、具体的にはウォーキングイベントの助成金が均一になるように見直しを図っていきます。No.20のアドバンススポーツ教室補助金は、鶴岡市民健康スポーツクラブが実施するテニスクリニックに対する補助金26万円で、前年同額でございます。令和3年度の開催予定は本日でありましたが、子ども達の感染状況を鑑み中止となっております。

続きまして、総合型地域スポーツクラブ活動支援事業です。全体で362万7千円、前年同額でございます。これは、スポーツクラブを通じて市民の皆さんが自主的な市民スポーツの振興を図り、活力ある地域づくりを推進していくことを目的として、5地域のスポーツクラブに対して補助するものであります。各クラブの金額は記載の通りでございます。

最後に、オリンピック・パラリンピック推進事業補助金につきましては、事業終了により前年比406万8千円の皆減でございます。以上、令和4年度スポーツ団体への補助金交付についてご説明をさせていただきました。よろしくお願いたします。

会長 ただいま令和4年度スポーツ団体への補助金交付について説明がありました。ご質問・ご意見等ありましたらお願いします。

委員 先ほどの質問の中でNo.14の国際バドU16推進協議会のイベントは延期になったとありましたが、年度内には行われぬという延期で、次年度以降に行われるということですか。そうするとこの400万円は使わないということですか。

事務局 ただいまのご質問の国際バドU16推進協議会の400万円につきましては、今年の7月上旬に開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染状況によりまして先日中止を発表させていただいたところですので。こちらは来年も開催の予定をしておきまして、開催準備のためにも想定しておりますので400万円このまま支払うかどうかは現時点では未定ですが、来年の準備のために予算措置をさせていただいております。

委員 令和4年度の開催はないということですね。

事務局 はい、そういうことです。令和3年度も令和4年度も中止ということですね。

委員 No.12のチャレンジデーはないということでしたが、チャレンジデーそのものが全国でなくなったということですか。

事務局 全国でチャレンジデーがなくなったわけではございませんが、全国的に新型コロナウイルス感染症の影響で開催が難しく参加団体が減っていると伺っております。

事務局 チャレンジデーの主催が笹川スポーツ財団というところで主催しております。令和3年度におきましても5月の開催はできなかつたところですが、その後時期を変更して開催されていたようでございますが、参加団体は非常に少なくなっていたようです。以前の参加団体数の半分以上まで減っているという状況ですので、チャレンジデーにつきましては今後対戦の方法なども大きく変わるのではないかと思いますし、人口規模によりグループ分けされながら鶴岡市も参加してききましたが、今後の対戦相手など不明な状況でもあり、今後鶴岡市では参加しないということで表明させていただいております。

会長 他にございますか。ではないようですので議事（１）の令和４年度スポーツ団体への補助金交付について承認することにご異議ございませんか。異議なしと認めます。賛成の方は挙手をお願いします。— 一同挙手 — 挙手全員ということで承認いたします。

４．報告並びに説明

会長 続いて、６．報告並びに説明に移ります。（１）令和３年度 スポーツ振興主要事業等の実施状況について報告・説明を事務局からお願いします。

事務局 ４ページの「令和３年度スポーツ振興主要事業等の実施状況について」ご説明させていただきます。令和３年度におきましても新型コロナウイルス感染症の影響により直前で中止となった事業が多くあったところです。特に今年に入りましては、オミクロン株による感染の急拡大によりまして、様々な事業に支障があったところです。（１）ライフステージに応じたスポーツ活動の推進の③地域・学区・地区体育協会等主催スポーツ行事の開催支援は、鶴岡地区体育協会連絡協議会加盟団体等が行うスポーツ・レクリエーション教室を開催した団体１５団体に予定していたところですが、１月２７日以降のまん延防止重点措置によりまして新型コロナウイルス感染症により２団体が開催できなくなり１３団体ということになっております。次に⑤「てくてく健康里山あるき」等ウォーキング事業の充実です。てくてく健康里山あるきを年間１５コースを設定していたところですが、６コースが中止となりました。開催した９コースにつきましては、人数制限や健康チェックの健康観察などの感染対策を行ったうえで実施したところです。これに関連しまして、鶴ウォーカーポイントはウォーキングイベントに参加するごとにスタンプを押し、達成記念品を進呈するものです。こちらは、庁内の他の部署や月山ビジターセンターの事業などを含めまして５２イベントを予定していたところですが、２２イベントが中止となっております。１２月末現在ですが参加者は９４９名となっております、ポイント達成者は、５６人が達成しております。続きまして、（２）子どものスポーツ機会の充実ですが、５ページに入りますが、⑥鶴岡市スポーツ少年団活動の支援ですが、小学校とスポーツ少年団本部との情報交換会などを実施したところです。スポーツ少年団本部の活動も、新型コロナウイルス感染症の影響により、対外試合の自粛や中止など活動自粛が求められるなど、厳しい状況になりました。続きまして、⑦「子ども夢スポーツフェスティバル in 鶴岡 2021」ですが、過去３年間台風や新型コロナウイルス感染症の影響により、開催できなかったことから今年度初めて Web 会議システムを用いたオンラインプログラムを取り入れ、現地プログラムを並行して開催し、子どもたちへスポーツを楽しむ機会を提供することができたところです。続きまして、（３）市民が主体的に参画する地域スポーツ環境の整備の①総合型地域スポーツクラブの活動・自立支援です。本市には９つの総合型地域スポーツクラブが活動しており、各クラブ活動の活動状況等の把握を目的に、クラブ訪問の実施などを行いました。総合型地域スポーツクラブは持続的な安定した運営が求められていますが、会員数伸び悩みや減少などの課題があげられました。続きまして、③スポーツ推進委員の資質の向上ですが、令和３年度におきましては、スポーツ推進員９２名の方に委嘱しております。スポーツ推進員の方からは地域でのスポーツ活動、市事業への協力をいただいております。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により研修会等の機会が少ない状況になりました。続きまして、２．感動と活力を与える競技スポーツの推進です。（１）競技力向上に向けた人材養成ですが、本市の包括的スポ

一ツ振興団体であります鶴岡市体育協会や選手強化に関する事業、上位大会出場選手の激励に関する事業等を行う鶴岡市スポーツ強化後援会の取り組みを支援したところでございます。6ページの⑤競技水準の高い各種競技大会の開催支援と協力体制の確立ですが、令和3年度国民体育大会東北ブロック大会兼第48回東北総合体育大会いわゆるミニ国体が鶴岡市で行われましてウエイトリフティング、卓球、アーチェリー、クレー射撃が行われたところでございます。次に(2)競技力向上を支える施設環境の整備です、①全国大会(国際大会)・東北大会等が開催可能となるスポーツ施設の整備ですが、小真木原総合体育館バドミントン用マット等の整備は、2019年令和元年の開催以来国際バドU16は延期となっておりますが、今後開催される大規模な大会の開催に向け整備を行っております。なお、この整備に当たりましてはt o t oの助成を受けております。次は小真木原陸上競技場トイレの洋式化、小真木原東多目的広場芝生修繕ですが、こちらにつきましては今年の8月に開催される全国中学校サッカー大会の開催に向けて整備を行ったものでございます。なお、トイレの洋式化にあたりましては、鶴岡地区サッカー協会から寄付をいただいております。次に、3.誰もが安全安心に利用できるスポーツ施設の環境整備ですが、(1)スポーツ施設の有効活用と整備推進です、①既存スポーツ施設機能の維持向上、7ページの③建築基準法等各種法規に沿った耐震化対策・安全対策の推進④地域の拠点施設の整備充実ですが、施設の経年劣化等により機能が低下していた設備を改修しております。12ページに項目と金額を記載しております。7ページに戻りまして、②JA鶴岡だだちゃアリーナ(屋内多目的運動場)ですが、こちらにつきましてはおかげ様をおもちまして、昨年12月1日に供用開始となりました。人工芝のアリーナは屋外で活動する競技を中心にご利用いただいております。また、2階にウォーキングコースがございますが、こちらも好評で1日平均で約70人のご利用がございます。次に、(2)スポーツ施設の管理運営の充実ですが、①指定管理者制度による適正かつ効率的な管理運営としまして鶴岡市体育協会へは35施設、市民プールは鶴岡水泳育成協会へ指定管理業務を委託しております。②学校体育施設開放ですが、こちらは市民の多様な活動の場の提供につながっているところです。8ページに移ります。4.地域に活力を生み出すスポーツ環境の充実(1)スポーツを通したコミュニティづくりの推進ですが、こちら新型コロナウイルス感染症により中止となった事業も多くなったのが現状です。(2)スポーツによる地域づくりと活性化ですが、②「みんなで歩こう!里山あるき」③「ジャパンソフトバレーボール鶴岡フェスティバル」などは、スポーツツーリズムとして本市来訪のきっかけとなるものですが、軒並み中止となりまして、次年度へ向けて感染症対策とともに内容の充実を検討していくこととしています。9ページに入り、5. ですが東京2020オリンピック・パラリンピックは新型コロナウイルス感染症の影響により開催も危ぶまれましたが、東京2020オリンピック・パラリンピックを契機としたホストタウン事業の推進とレガシーの創出です。こちらにつきましては、競技大会の開催にあたり、本市はホストタウンとして登録された「ドイツ」「モルドバ」との交流、共生社会へ向けた取り組みを進めたところです。ホストタウン相手国との交流と事前合宿の受け入れとして、オリンピック競技大会においては、モルドバ共和国から12名の選手団の事前合宿を受け入れております。パラリンピック競技大会におきましては、ドイツ連邦共和国のポッチャチームの4名の選手団を受け入れております。それぞれにおきまして公開練習などで感染対策

を講じながら市民との交流を行ったところです。(2) 東京2020大会並びに関連行事への参画意識の高揚とスポーツに親しむ機運の醸成ですが、まず東京2020オリンピック聖火リレーは6月7日に羽黒手向地区及び鶴岡市街地の2区間で実施をしております。東京2020パラリンピック聖火リレーにおきましては、8月7日黒川能水焰の能のかがり火を採火・保管をしまして、8月14日に鶴岡市の採火式を実施したところです。10ページに入ります。(3) 東京2020オリンピックにおいて、本市出身選手が出場する際の支援体制の整備ですが、こちらにおきましては、アーチェリー関係者、企業協賛会などからなる中村美樹選手を支援する会の設立等を支援したところです。次に(4) ボッチャの普及等を通じた障害者スポーツの振興と共生においては、ドイツチームのホストタウンを契機としてボッチャが広く市民に知られるようになり、ボッチャの普及等を通じた障害者スポーツの振興と共生社会の実現を行ったところです。これに関連しましてボッチャ用具貸出件数が47件と前年度に比べまして1.5倍以上と増えてきております。また12月1日供用開始のJA鶴岡だだちゃアリーナ2階ホールへはボッチャコート常設しておりますし、9ページにもご紹介していますが、今回の東京2020パラリンピック競技大会で使用されたボッチャのコート床材を羽黒体育センターに敷設しております。以上令和3年度スポーツ振興主要事業等の実施状況をご報告させていただきました。

会長 令和3年度スポーツ振興主要事業等の実施状況について報告説明がございました。何かご質問・ご意見がございましたらお願いします。

委員 4ページの成果課題のところ鶴岡ウォーキングポイントについて、ウォーキングイベント参加者へのインセンティブによってとありますが具体的にはどういうことをしているのか教えてください。

事務局 インセンティブによってと記載しておりますが、ポイントに応じて例えば、マグカップやリュックなどの記念品を進呈しています。プレゼントを贈ることにより次のステップに進んでもらいウォーキングイベントに参加する契機づけとしてもらい、できるだけ多くの方に参加いただき、ウォーキングを楽しんでいただきたいと考えております。

事務局 プレゼント内容を具体的に申し上げますとスタンプ5個でハンドタオル、10個でエコバックまたはクッション、20個でタンブラー、25個でTシャツと段階的に高価なものになっていき、あと何ポイントでもらえるのでまた参加してみようと思っただけのように考えられています。

委員 わかりました。

委員 6ページの3. 誰もが安全安心に利用できるスポーツ施設の環境整備とありまして、設備を改修することで誰もが安心して利用できる環境を整備することができたと書かれてありましたので、質問させていただきたいと思ってきました。去年の8月にパラリンピックの聖火フェスティバルとして採火とボッチャ試技が小真木原陸上競技場で行われ、車いすの方3名が参加させていただきました。小真木原陸上競技場のトイレがひどかったのです。障害者にとりましてトイレ環境がとても大事なことでございます。設備改修の中にバリアフリー的な改修があったのか今日質問をしようと思ってきました。今回、小真木原陸上競技場のトイレの洋式化をしてもらうことができたということは、とてもよかったと思っておりますし、やはりまだまだト

イレについては、予算のこともあるでしょうけれども、やはり共生社会となれば障害者、車いすの方にとってトイレが一番大事なところで社会参加への要のところですので、今後に関しましてもバリアフリーのための改修を順次進めていただきたいと思いますところですが、今回洋式トイレを寄付していただいたということで本当によかったと思っております。それからもう1点です、10ページの東京2020パラリンピックを契機に盛り上がった障害者スポーツへの関心、ホストタウン事業としてボッチャ競技の普及の取組は、障害者・健常者相互理解が高められたと実感しております。私達障害者もホストタウン事業として、いろんな事業に参画させていただきました。本当によかったと思うことと同時にレガシーといたしまして、残せたことに感謝申し上げます。今後に関しましても障害者スポーツの推進につきましてどうぞよろしくお願い申し上げます。

事務局 ただいまのトイレの件でございますが、今年度は先ほどありましたように小真木原陸上競技場のトイレを洋式化しておりますが、トイレの洋式化はスポーツ施設全般において、まだ進んでいない状況でございます。そちらについても順次洋式化を進めていきたいと考えております。ボッチャ競技の普及に関しては、鶴岡市身体障害者福祉協会の皆様から様々ご参加いただきましてありがとうございました。今後も更に普及を進めてまいりたいと思っておりますのでよろしく申し上げます。

委員 トイレ洋式化には、すごく賛成です。高齢になり和式トイレは耐えられないと思っておりますが、それともう一つウォッシュレットにしてほしいのです。市の施設で当然付くと思っていたウォッシュレットが付かなかった。そういうところがたくさんあるようです。いろんな見解を聞いてみると、屋内の新しい施設のトイレには付けるが、屋外の施設にはウォッシュレットを付けないという見解のようでした。それをぜひ改めていただきたい。今子どもたちの中でもウォッシュレットがないトイレには入りたくないということで、学校でも我慢しているような状況があるそうですので、これから新設、改修するときにはぜひウォッシュレットにさせていただきたいと思っております。

事務局 ご意見ありがとうございます。市全体の整備については、建築課など専門の部署と連携を取りましてこれまでの方針などを確認しながら進めていきたいと思っておりますのでよろしく申し上げます。

会長 他にありますか。

委員 あくまで意見ということで申し上げたいのですが、令和3年度の実施状況ということでよくまとめられていますが、成果・課題の欄に成果があったところ二重丸、現状だったところは丸、課題をある程度探り出すために三角とか、そんな形で少し整理出来たらなお、次年度につながっていくのかなど。やっぱりよかった部分は、よかったとして二重丸にして。意見ですので作業は増えますが、更にスポーツ振興を高める上では、そういう総括のやり方があってもいいのかなと思っております。あくまで意見です。

事務局 貴重なご意見ありがとうございます。ただいまの二重丸、丸、三角の記号の基準も含めまして検討させていただきたいと思っております。

委員 9ページにオリンピック・パラリンピックのレガシーという言葉がありますが、私が感じているところで、例えば今回子ども夢スポーツフェスティバルの中のスポーツの一部として、

中村美樹選手との交流で子どもたちにアーチェリーをPRすることができ本当によかったと思っております。そして、ドイツのボッチャに関してはレガシーとして鶴岡市内各地域でボッチャ大会や研修会をしているという状況でありまして大変よかったですと思います。そうした中で、今のウクライナ情勢で、隣国であるモルドバとの連絡などがありますか。教えてください。

事務局 ただいま丸山委員からお話がありましたように、やはりこれからもレガシーとしてホストタウン相手国との交流ということが非常に重要だと思っております。それでこのたびのウクライナ情勢で最初に侵攻のあった2日後あたりにアーチェリーのイリナ・チェカノヴァヘッドコーチにメッセージを入れまして、心配している旨を伝えたところ、向こうも心配してくれてありがとうございますということをおっしゃられました。現状を聞きますと選手の方は、100%ではないが練習はできているというようなお話をしていました。ただ報道されているようにモルドバにも30万人を超えるウクライナからの避難民が来ているというようなお話もあることですから、モルドバ自体が270万人くらいいるうちの1割くらいが来ているという状況もあってその受け入れの人道支援がなかなか大変だという話は聞いております。こちらホストタウンと関係のありました企業のみなさまにお声掛けしながらどのような支援ができるか進めている段階にもありますし、あとはモルドバのアスリートのみなさんを応援する激励の意味でも関連ある高校生やスポ少の子どもたちの応援メッセージなどを送ればと今検討しているところです。以上です。

委員 ありがとうございます。

会長 次に(2)令和4年度 スポーツ振興重点施策について報告・説明を事務局お願いします。

事務局 では私から令和4年度スポーツ振興重点施策についてご説明させていただきます。まず、「生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の推進」については、令和3年度はオリンピック・パラリンピックに関する項目がありまして、ホストタウン事業などに取り組んでいたところですが、東京2020オリンピック・パラリンピックの終了に伴いまして、関連する取り組みを削除しております。一方、オリンピック・パラリンピックのレガシーとなります障害者スポーツの推進やホストタウン相手国とのスポーツを通じた交流を関連する部分に取り入れております。令和4年度も大きくは4本の柱としまして(1)誰もが楽しめる生涯スポーツの推進として、ライフステージに応じたスポーツの推進、子どものスポーツ機会の充実、市民が主体的に参画する地域スポーツ環境の整備、障害の有無にかかわらず誰もがスポーツを楽しめる環境の整備としております。2本目の柱として、(2)感動と活力を与える競技スポーツの推進ですが、こちらにおきましては競技力向上に向けた人材養成、次のページに入りまして、競技力向上を支える施設環境の整備としております。3本目の柱として、(3)誰もが安全安心に利用できるスポーツ施設の環境整備におきましては、スポーツ施設の有効活用と整備推進、スポーツ施設の管理運営の充実に取り組んでまいります。4本目の柱として、(4)地域に活力を生み出すスポーツ環境の充実ですが、スポーツを通じたコミュニティづくりの推進、スポーツによる地域づくりと活性化、トップスポーツと地域スポーツとの連携・協働の推進を進めていこうと考えております。令和4年度も4本の柱として取組を進めてまいりたいと考えております。新型コロナウイルス感染症の影響によりまして停滞していた活動ですが、各種感染予防対策を講じながら1日も早い復調を本市としても願っているところでありまして、様々な事業の

取組を進めてまいりたいと考えております。詳細の説明につきましては割愛させていただきます。以上令和4年度スポーツ振興重点施策についてご説明させていただきました。

会長 令和4年度のスポーツ振興重点施策について説明がありました。前年度との違いについてはオリンピック関係の部分が外れているところですが、ご意見・ご質問等ありましたらお願いします。

委員 13ページの(1)②の子どものスポーツ機会の充実のところ、アクティブ・チャイルド・プログラムの普及に力を入れようという内容だと思いますが、令和3年度の子ども夢スポーツフェスティバルではアクティブ・チャイルド・プログラムの先生が来て子どもたちを遊ばせてくれたのですが、日常的に普及するためにはやはりアクティブ・チャイルド・プログラムを指導する人の養成がもっと大切だと思います。たとえば幼稚園の先生など子どもたちを相手にする指導者の養成をどのような形で広げていくのか考えがあればよろしくをお願いします。

事務局 アクティブ・チャイルド・プログラムですが、おっしゃる通り指導者の養成が必要だと考えております。指導者になるためには各種講義など受けていただく必要があります。現時点で鶴岡市での開催の具体的な予定はありませんが、皆様に情報提供しながら、そうした指導者を増やしていければと考えておりますのでよろしくをお願いします。

委員 日本身体障害者団体連合会の機関紙「日身連」に掲載してあったのですが、近年障害のある若年層でスポーツをしない人の増加傾向が見られることからスポーツ庁ではその原因や解決に向けて調査研究としてヒアリング調査を行ったそうです。その出席者からはボランティアや学校と連携した取組や参加しやすい雰囲気づくりの苦労等の話が出されたと載っておりました。スポーツには体験によって共感・理解が図られながら違いに気づくことができ、相互理解が進んでいくことと思っております。13ページに記載してあります、誰もが楽しめる生涯スポーツの推進、子どものスポーツ機会の充実、障害の有無にかかわらず誰もがスポーツを楽しめる環境の整備ということで障害者スポーツの推進をどうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。

事務局 貴重なご意見ありがとうございます。本市としては、先ほど申し上げましたようにポッチャの普及をまずはじめましていろいろな形で障害者の方が取り組めるスポーツを広めてまいりたいと考えております。障害者の方のその状況に応じて取り組める競技も違って来ると思ひますが、そうした情報などをいただきながら、どのような形がいいのかご相談させていただきますのでよろしくお願ひします。

会長 他にございませんか。なければ、次の(3)運動・文化部活動と地域との連携検討について報告説明をお願いします。

事務局 事務局の佐藤友大です。私からは、運動・文化部活動と地域との連携検討について説明いたします。はじめに『令和3年度 第2回鶴岡市における運動・文化部活動と地域等の連携の在り方に関する検討委員会』についてですが、令和4年3月9日(水)13時30分から鶴岡市小真木原総合体育館2階大会議室の同会場にて開催したところです。協議内容につきましては、記載の通りとなっております。検討委員会において確認した内容といたしまして、四角で囲まれている部分になりますが、提案した具体的な方法パターン1からパターン5ですが、パターン1が総合型地域スポーツクラブへの移行、パターン2がスポーツ少年団への移行、パ

ターン3が保護者会クラブへの移行、パターン4が民間クラブへの移行、パターン5が合同部活動への移行ということで進めることを確認したところです。次に報告並びに説明資料の8ページをご覧ください。今後のスケジュールについて、説明をいたします。今年度、2回にわたり開催した検討委員会ですが、第2回を持って終了といたします。令和4年度につきましては、それぞれの学校において、パターン1からパターン5のいずれの方法で土日祝日について地域移行が可能かどうか、検討していくための話し合いの場を設定していきます。保護者会や外部指導者が集う部活動連絡協議会は仮称ですが、これを実施し、各学校の実態に応じた土日活動の地域移行について、検討する機会、また、地域の方々に説明していく機会を設けていきたいと考えております。教育委員会といたしましては、市体育協会傘下の各競技団体及び芸術・文化関係機関に対しまして、指導者の推薦や紹介をいただけるよう、働きかけも行ってまいります。そしてそのための説明の場を設定する予定です。また、田川地区中学校校長会が4月13日（水）に開催される予定であります。そこで、各中学校校長先生に対し、説明する機会を設けています。令和4年度については、定例で行う校長会等において、各学校の土日活動の地域移行における進捗状況を確認し合いながら、市教育委員会へ報告するよう働きかけてまいります。さらに、本市PTA連合会との懇談会等において、広く情報発信します。そして、国が示す令和5年度4月から段階的な休日活動の地域移行の実現を目指す計画です。説明は以上です。

会長 運動・文化部活動と地域との連携検討について説明がありました。お話のようにスポーツ庁では令和5年度からの休日の部活動については地域に移行するということが出されていることから今後、地域との話し合いが持たれるとの報告でありました。ご質問・ご意見等ありましたらお願いします。

委員 5ページの中ほどの「教員が住んでいる地域ではない勤務校の地域」の定義は、中学校学区のことを言っているのか、地域とはどの地域のことになりますか。

事務局 地域の定義についての質問でございますが、現在考えておりますのは中学校区での地域もありますし、旧鶴岡市という小さくくりでの地域もあると考えております。

委員 そうすると「教員が住んでいる地域ではない勤務校の保護者会クラブの指導を、部活動に引き続き、土日の活動で指導することは原則しないこととする。」となると鶴岡出身の教員は、どうなるのでしょうか。

会長 学校にいる先生が、住んでいる地域でない勤務校ではなく、住んでいる地域で指導するということですか。

事務局 具体的に例を申し上げて説明すると、藤島に居住している教員が鶴岡一中に勤務をしている場合、鶴岡一中の方で土日の指導をするのではなく、藤島の総合型地域スポーツクラブの方で土日指導するというのであればOKということですよ。

会長 部活動というのは、中学校なので今言ったように藤島地域に住んでいる教員は、平日は鶴岡一中で指導し、休日は指導するとしたら地元の藤島地域で指導してほしいということ。将来的には平日も地域移行が出てくるようになっていくと思います。そういったことを見越して、地域の人は地域でやってほしいということになっていくのではないかと思います。

委員 先生方の異動の関係もあるのでしょうか。8ページで令和4年度からのスケジュールで競技団体等もいろいろ入っておりますが、中体連がこのパターンの中に入っていないようですが、

中体連ではどのように考えているのか。そして将来は高体連も土日については地域のクラブに移行していくということがスポーツ庁の文書を見ると地域移行は中学校から高校まで書かれているようです。今まで、中学校は中体連ということで土日の大会等は全部教員が引率をしていたり、審判をしたりしていましたが中体連の方ではどのように捉えているのか。この中に中体連が一つも出てこないことはどうなのでしょう。

委員 中体連としましては、教員の働き方改革という視点から、土日にどれだけの大会があるのか、引率しなければならない大会がどのくらいあるのか今現在把握に努めているところです。教員の引率を伴わなくてもできる大会のシステムの検討を各競技団体をお願いをしたり、当然中体連が主催する地区・県・東北・全国大会については学校の責任で引率するわけですが、引率しなくてもいい大会の整理または、大会の数を見直していくよう競技団体の方にもお願いをしていくことも今後進めていきたいと考えております。

会長 他にご意見・ご質問等ありましたらお願いします。

委員 前に県スポーツ協会から説明を受けたときには、地域クラブへの移行を目指しているとしてきたのですが、その時は総合型地域スポーツクラブでなくて地域クラブという言い方をしていましたけど、それはどうなったのでしょうか。

事務局 地域移行に向けたパターンは、ここにも示してある通りいろんなパターンがあります。スポーツ庁が移行で示している姿というのは地域総合型スポーツクラブとスポーツ少年団、民間のクラブという3つの形態を示していたと思います。勝木委員がおっしゃっているスポーツクラブは総合型地域スポーツクラブでなくても中学生を対象にしたスポーツクラブという意味合いではないかと思えます。鶴岡市内で総合型地域スポーツクラブができていないところがまだあるわけです。そういったところはこれからこのパターンで示している保護者会が中心となってやっていくクラブでまず行くしかないかなという風に考えているのですが、それを地域の方々と学校側が協議していきながら、すぐにはできないと思えますがここ何年か後に中学生を対象にしたクラブを中学区で作っていきこうということになれば、それも一つの受け皿になっていくのではないかという風に思えます。したがって来年度から中学校ごとに地域との話し合いをしていくこととなりますが、それを重ねていきながら中学生対象のスポーツクラブを立ち上げていくかというところがあれば教育委員会としても支援していきたいと思っております。

会長 クラブもいろいろありますが、5ページにパターン4の民間クラブの状況を学校ごとに調べていただいて、子どもたちの中で総合型地域スポーツクラブでもスポーツ少年団でもないクラブで、どのクラブに入っているか記載されてあります。民間クラブも一つの選択肢としてあり、学校の部活動の全部が移行されるということにはならないと思えます。個人が選ぶという時代になってきているのではないかということで、今後選択肢が広がっていくと思えます。中学生の部活動という概念を考えていきますと全部が移行と考えがちではありますが、今は柔軟に対応しながら、将来は地域に移行することになっていくと思えます。5月にスポーツ庁で見解を出すという話もあるようでしたので注視していきたいと思えます。

委員 来年度からパターン1から5までの中で順次やっていくと。その中で課題を見つけながら更に制御して進めていくということになるのですが、鶴岡市は進んでいると感じています。アンケートの調査の結果を見ると外部指導者の確保と資質が大きな課題になっていると思うの

ですが、どういう人が指導しているかという学校や知り合いから頼まれた、子どもが入部したから指導者になったというようなことが結構あるのですね。中には専門的な知識を持っていて地域貢献しようと思って指導者になる人もいらっしゃるようでした。これはまだ極一部です。今後生徒指導など指導力、個人情報などの問題もあると思いますし、外部指導者をいかに確保していくかということが大きな問題なのだと思います。パターン1～5の中でもいろんな資格を持ってもらうよう、そういうところに手立てをすることが必要なのではということが読み取れました。それから、受益者負担のところもこれから子どもたちが少なくなっていくところで、やりたい種目の多様性も出てくると思いますし、保護者の中でスポーツクラブを作るとなるとそれぞれの負担も出てくると思います。受益者負担を原則にしながらも、お金がないから活動できないとならないよう配慮し、子どもたちが希望するスポーツに触れる機会を作っていくことも大事だと思います。競技スポーツの立場から言うとエリートを見つけたいと思うのですが、そうではなく多くの子どもたちにスポーツに触れる機会を失くさないようにしていきたいということが大切なのではないかと思ったところでした。令和4年度進めていただいて、いろんなところに波及していくといいと思っています。感想も含めて述べさせていただきました。

委員 一つお願いですけれど、保護者会クラブの方向にこれから鶴岡市は進めていくというお考えが強いようで、私も賛成ですが今現在でも部活動の延長で保護者会クラブということで活動されています。私も総合型地域スポーツクラブの中にいますのである意味ライバルになる部分もありますが、子どもたちの可能性をどんどん引き出していくには地域の中に活動の場があって、保護者のみなさんが子どもたちを育てていくという意味でも本当の支援だと思います。ただし保護者会というのは生徒の保護者が運営するのであれば1、2、3年と保護者が変わっていくことになります。そうなる部活動に入っていない子どもが、そこで活動したいのに参加できないという壁ができないか心配です。部活動とは違うもう少し大きい枠組で部活動には参加していなくても、保護者会活動にはどうぞというように地域の子どもたちを受け入れてくれる保護者会の組織をきちん作ってもらい、長く地域の中で子どもたちを育てるという組織がこれからどんどん増えてほしいと思っています。それが歩いて通える場所にあると大変うれしいと思います。組織づくりの時に部活動をしていない子どもを排除しないで今度やってみたいという子どもを入れてほしいですし、組織を作るときに役員体制運営体制を途中で途切れないようにその辺を指導していただきたいと思います。よろしくお願いします。

会長 いろいろなご意見があります。スポーツ少年団もそうですけれど、今まではスポーツ少年団でスポーツをする子、しない子の二極でしたけど、今ではスポーツ少年団だけでなくスポーツクラブもあります。競技指向のクラブとスポーツを楽しみたいというクラブにこれからもっと分かれていくのだと思う。部活動もスポーツ少年団もやりたいと思った子どもがスポーツをできるように配慮していかなければならないと思います。

委員 運動する、しないの二極化があります。以前は運動が好きか嫌いかの二極化もありました。スポーツをする子、しない子とかどういう風に分かれているのかですが、アンケート結果で、文化部への入部が急激に増えているというところにパッと目に留まりました。今の中学校の中ではそうなっているのでしょうか。全体的にスポーツ離れの傾向にあるのでしょうか。この辺は分析していますか。文化部に行って悪いのではなくて、中学生の生徒がそうなっているのか

をお聞きしたくて、どうなのでしょう。

事務局 まだ分析はしていませんが、一部の中学校の特徴としてこのようなことがあげられていると思います。全体的に言えることとしては、文化部の部員も非常に減少傾向にあると聞いておりますので、全部の文化部が増えているわけでもないと捉えているところです。これからまた分析してきたいと思います。

会長 他にご質問・ご意見等ありませんか。なければ予定の時刻となりましたので報告並びに説明を終わりたいと思います。進行を事務局に返します。ご協力ありがとうございました。

5. 閉会

事務局 これをもちまして令和3年度鶴岡市スポーツ推進審議会を閉会します。本日は誠にありがとうございました。

以上